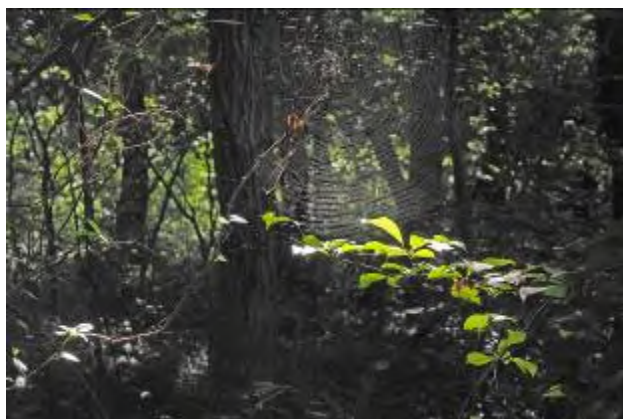




・・・大野中地区・・・

大野中地区は、駅周辺に商業地域が形成されている一方で、かながわ美林50選にも選ばれている「木もれびの森」等もあり、みどり豊かな地区でもあります。また、毎年9月には、「相模原よさこいRANBU!」が開催され、市内外から多くの踊り手が参加し、リズムカルな音楽と華麗な踊りに7万を越す市民が酔いしれます。

大野中地区優秀賞



【撮影者】村田 行男

【タイトル】木もれび

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】毎日の散歩コースですが、日時・天候によっては良いシーンが見られます。

審査員寸評

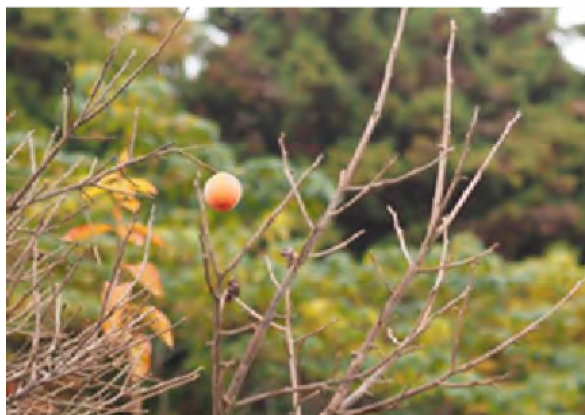
林の中、陽に当たったクモの巣が輝いています。静かな環境であることが分かります。小さな生物たちが活動する様子まで想像させてくれます。

【撮影者】村田 行男

【タイトル】晩秋

【撮影場所】木もれびの森近くの畑

【コメント】たった1つ残った柿が晩秋の初冬を強く感じさせます。



第5回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】最高潮

【撮影場所】古淵

【コメント】北は山形、南は福岡から参加され大変盛り上がり、福岡のチームが最優秀賞に輝きました。郷土の名誉にかけ出演者が日ごろの練習の成果をいかに発揮され躍動感溢れる演技は見事でした。

【撮影者】漆山 晃輔

【タイトル】躍動

【撮影場所】古淵

【コメント】若さ溢れる息の合った躍動感に満ちた大胆な演技に感動した。



【撮影者】内田 章

【タイトル】雪夜の木もれびの森

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】ある大雪の日の撮影でした。その夜木もれびの森に出かけてみました。あらゆる枝に、予想通り雪が付着していました。



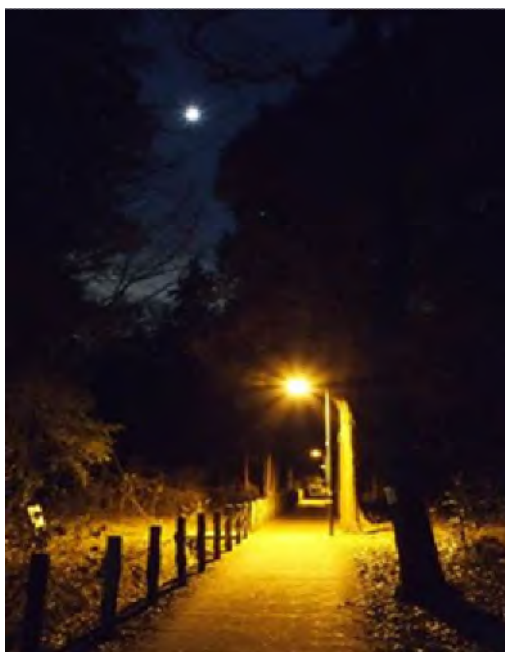


【撮影者】内田 章

【タイトル】星空の木もれびの森

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】寒い夜思っていた通りに星空に、私一人の世界でした。



【撮影者】丹野 彰太

【タイトル】こもれ月の森

【撮影場所】木もれびの森 緑道

【コメント】月と火星が最接近するので、撮影のためにこもれびの森へ行きました。ちょうど、いつもは太陽からのこもれびがきれいな場所で、月の光が木の間から見え、月と火星、緑道の街灯がきれいだったため、撮影しました。月と街灯の間には、木の間から金星も顔をのぞかせています。こもれびの森は昼間だけでなく、夜も素敵な場所です。ぜひ、立ち寄ってみてください。

【撮影者】長谷川 重男

【タイトル】木もれびの森の光芒

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】晩秋の雨上がりの霧の立ちこめる朝、光を求めて森の中に入ると、まもなく強く差し込む光が雑木林を照らし始めシャッターを押した。



第5回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】守屋 和夫

【タイトル】歓喜の瞬間

【撮影場所】古淵

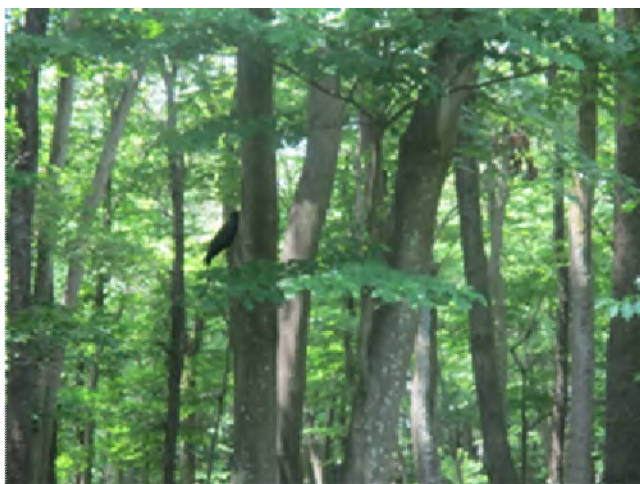
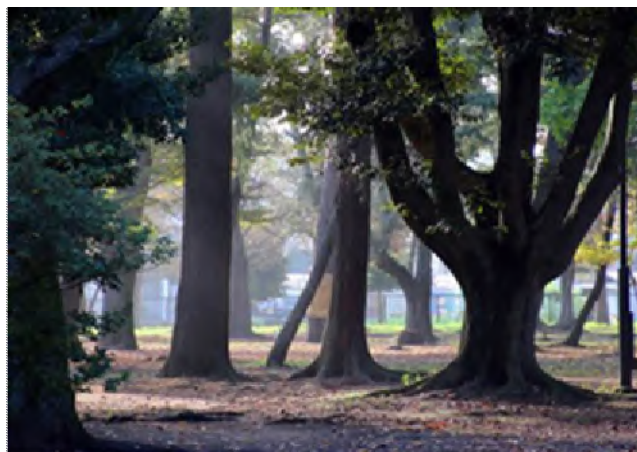
【コメント】相模原よさこいRANBU会場で、大賞（よさこいRANBU賞）を取ったチームがお披露目で踊っていました。受賞の喜びが全身から溢れていて、シャッターを切りました。

【撮影者】小杉 貴美子

【タイトル】癒しの空間

【撮影場所】相模原市慰霊塔

【コメント】住いの近くにある慰霊塔。春は桜、秋はイチョウと私達の目を楽しませてくれる。ここは、家族連れ、近所の友達同士で、犬の散歩でと多くの方がくつろぎを求めて訪れている。11/24晴れた日の昼下がり慰霊塔広場へ散歩に出かけた。すると、目の前の太い木々の中は秋の優しい日差しで満ち溢れていた。思わずその癒しの光の空間が写真に写るか試してみたくシャッターを切った。樹木の暗さと優しい光のコントラストに癒しを感じた。



【撮影者】田中 聖都

【タイトル】自然の中に囲まれたカラス

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】撮影時期は5月ごろです。たくさんの新緑の木々の間から日差しが射し、爽やかな感じの空気感が良いと思いました。またカラスが一匹だけという少し面白い情景が気に入りました。「これは良いシャッターチャンス」と思って撮ると、想像通りの写真ができました。

第5回「南区 私のイチ押し写真」
応募作品発表

